

食べる 暮らす・働く

2017.11.08

倉敷・いがらしゆみこ美術館、グリーンカレー販売半年 松本零士さんとコラボ



「いがらしゆみこ美術館」でも販売する「キャプテン・グリーンカレー」



倉敷の「いがらしゆみこ美術館」（倉敷市本町、TEL 086-426-1919）を運営する企画デザイン会社「明日絵（あすか）」（同）が、漫画家・松本零士さんによるキャラクターをパッケージに採用した「キャプテン・グリーンカレー」（853円）を発売して半年がたった。

「カフェプリンセス」ではワイングラスで提供する

今年5月に販売を始めた同商品。岡山バクチー、総社産セロリ、ホウレンソウなどを使い辛口に仕上げたグリーンカレーで、パッケージには「銀河鉄道999」「宇宙海賊キャプテンハーロック」「宇宙戦艦ヤマト」などを代表作に持つ松本零士さんが書き起こしたオリジナルの宇宙海賊キャラクターを据える。初年度の売上目標は1万5000食で、同美術館をはじめ、「とっとり・おかやま新橋館」、百貨店、土産店などで販売する。

美術館内の「カフェプリンセス」では、「ローズ・グリーンカレー」（ドリンク付き、1,296円）として提供。ワイングラスで用意されたグリーンカレーを客自身がバラの形に盛り付けたライスに注ぎ、「恋愛成就の願いを込めた」グリーンローズを完成させる。

同社は昨年、漫画家・いがらしゆみこさんによるプリンセスキャラクターをパッケージに採用した中辛の「プリンセス・ピンクカレー」を発売し、これまで約8000食を販売している。「カフェでは、ピンクカレーとグリーンカレーをペアで注文し、写真をInstagramで公開するお客さまが多い」と三城誠子社長。

「野菜カレーなので美容健康の意識が高い女性、辛口が好きな男性、パクチーが好きな方などにおすすめ」と呼び掛ける。

営業時間は10時～17時。

【広告】

地図を見る



ワイングラスから注いだグリーンカレー（関連画像）
関連画像



「カフェプリンセス」店内（関連画像）
関連画像



食べる
倉敷に王宮風カフェ「カフェプリンセス」県産赤ワイン使ったピンク色のカレー主力に（倉敷経済新聞）



食べる
倉敷のカフェ12店舗で「アフタヌーンティー」県産イチゴ使ったメニュー提供（倉敷経済新聞）

札幌で漫画家・イラストレーター志望者向けセミナー－いがらしゆみこさんが講演（札幌経済新聞）
札幌経済新聞

ポスト

シェアする

LINEで送る

＜ 前の記事

次の記事 ＞

特集



エリア特集

倉敷・児島の塩田にちなんだ「白いキーマカレー」地元店主の思いとは

もっと見る ＞

最新ニュース



見る・遊ぶ

日本画家・小瀬真由子さんが倉敷で滞在制作 大原美術館で作品展示へ

東京を拠点に活動する日本画家・小瀬真由子さんが現在、倉敷で滞在制作を行っている。



「人ありき」－最高の技術とサービスを倉敷のコンビナートから世界へ

アクセスランキング



1
倉敷「鷺羽山ハイランド」大観覧車に「体むき出し」2人乗りゴンドラ



2
倉敷でアート・クラフト・食の周遊イベント ライフペイントも



3
倉敷・水島に「空飛ぶクルマ」次世代産業の可能性に挑戦



4
岡山・早島町「観光センター」リニューアル 平飼い卵のプリンや県産食材販売も



5
倉敷在住作家の新作 美観地区を舞台に家族愛テーマのヒューマンドラマ

もっと見る ＞

フォトフラッシュ



滞在制作中の日本画家・小瀬真由子さん



制作中の作品



カフェ天井の傘



クスノキにつく小さな傘



期間限定の「紫陽花フロート」

もっと見る ＞